

氷見市地域おこし協力隊活動報告

令和7年3月

滋賀県出身。娘の小学校就学を期に2022年春に京都市から氷見市に移住。

妻は富山県高岡市出身。娘は小学校3年生。富山への移住は1年以上かけて検討し、氷見の自然環境の美しさに惹かれ移住を決定。

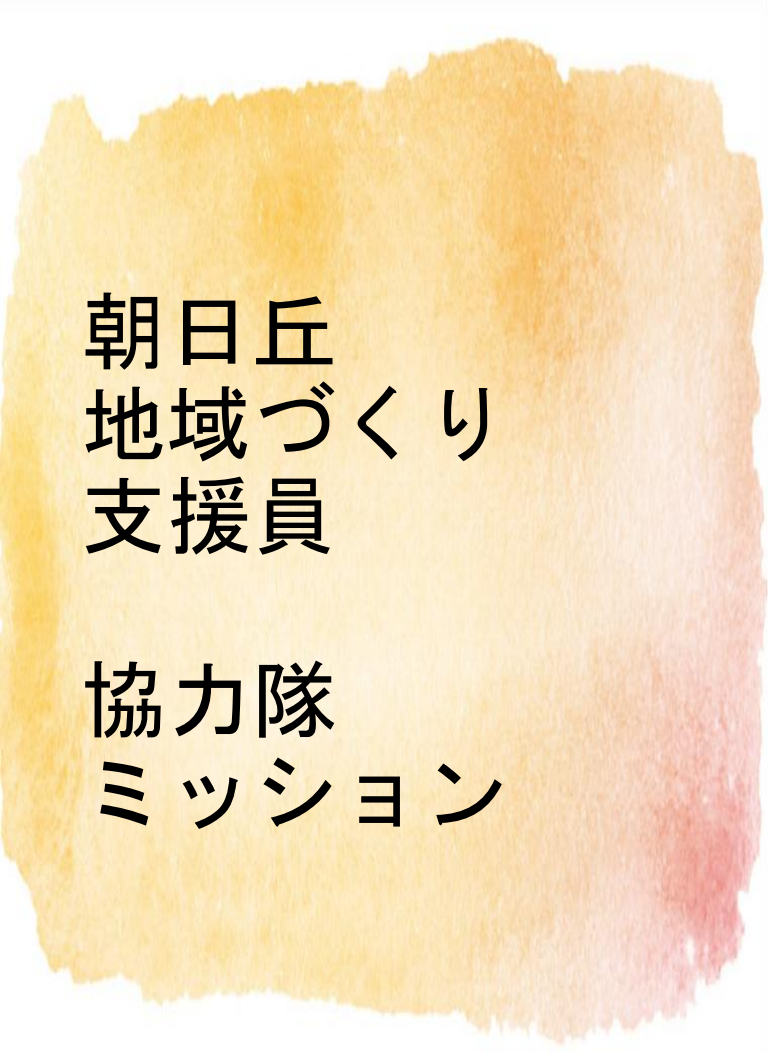
着任以前は、県立劇場の職員として勤務。芸術大学出身で、それまでも芸術文化関係の仕事をしており、主に舞台芸術が専門。



氷見市地域おこし協力隊 7期生

朝日丘地域づくり支援員

桑折 現 | コオリゲン



朝日丘
地域づくり
支援員

協力隊
ミッション

(メインミッション)

朝日丘地域での「地域づくり協議会※」
の設立を目指した地域住民の交流の場の
創出、まちづくりへの意識の醸成

※旧小学校区単位の枠組みで、住民が自ら地域の課題について考え、その解決に向けて取り組み、住民のためのまちづくりを推進する母体となる組織

音楽・絵画などの子どもアート体験
ワークショップの企画・運営

朝日丘 地域づくり 協議会

設立に向けて 活動



朝日丘地区の特徴

- ・ 駅前エリアを含む市内では人口が比較的多い地域であり、各種団体の活動が現時点でも続けられている。
-
- ・ 特に朝日丘社会福祉協議会の取り組みが活発で、地域の人に関わりが多く深い。
-
- ・ 地域づくり協議会を設立するにあたって、どのような協議会が必要か議論を重ねている。

自治振興委員連絡会
朝日丘校区社会福祉
協議会



連携しながら、設立を目指す

朝日丘
地域づくり協議会

まちなかサロンひみ
(協力隊活動の
拠点)

- 校区社協設立から35年の節目を迎える中、地域は少子高齢化や担い手不足、コロナ禍などの危機に直面しており、これからの時代に合わせた地域福祉を校区全体で考えていく必要がある。
- 今後の校区社協活動を進める基盤となる小地域福祉計画の作成を目指し、校区社協を中心とした地域の関係団体、専門職等を巻き込んだ取り組みを2か年で行う。



4回のワークショップを実施

広く地域の人に声をかけて集まってもらった



第1回 「理想の朝日丘」「課題の順位付け」



第2回 「課題と強みの整理」



第3回 「取り組みのアイデア出し」



第4回 「親しみを感じるキャッチコピーづくり」

計画の素案について

グループワークで出た意見

主に地域福祉に
関係すること

校区社協以外に主となる団体がある
又は 他分野に関すること

校区社協福祉計画

地域づくり協議会
など

関係がないわけではなく、互いに連動していく
例) 災害対策、担い手の確保、住民交流 など

- 地域の方々が感じている課題や未来に対する想いを知る機会になった。
 - 地域づくり協議会の必要性を再認識する機会になった。
 - そして、自主的に設立に向けた動きが出てきた。
-
- 朝日丘地域づくり協議会の設立に向けて、大きな前進をしたと感じている
 - この先が大変な段階であるが、引き続き地域の方と協力しながら、協議会設立に向けて動いていきたい。

子どもアート体験ワークショップ

移動音楽実験室 スタジオ☆ムジカ！

「スタジオ☆ムジカ！」は、子どもたちが音の楽しさに熱中できる「体験型おんがく室」をつくるプロジェクト。会場にいろんな楽器やおもしろい音がするものを用意し、みんなでそれらを使って遊びながら音を楽しむプロジェクトです。

会場ではプロの音楽家が子どもたちを待っていて、音楽家たちの生演奏を聴いたり、楽器の使い方や音の楽しみ方をガイドしてもらいながら一緒に演奏したり、うたを歌ったりしてあそびます。

スタジオ☆ムジカとは

音楽の経験、年齢、ハンディキャップなどに関わらず、乳幼児から大人まで誰もが一緒に音を楽しむための「実験室」を作るアートプロジェクト。





合計3回のワークショップを行い、参加人数のべ61名
皆さん、とても楽しまれた様子であった



今後の展開

氷見に家族と共に暮らしていきます。

富山・氷見⇄関西、東海、関東などを行き来しながら、多拠点で仕事、芸術・文化（主に舞台芸術）に関する仕事を行っていきます。

富山・北陸の文化振興に寄与できるようにがんばりたいと思います。
